

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 31日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都千代田区大手町一丁目1番1号

氏名 三菱地所株式会社
執行役社長 吉田 淳一

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番1号				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	13,638	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

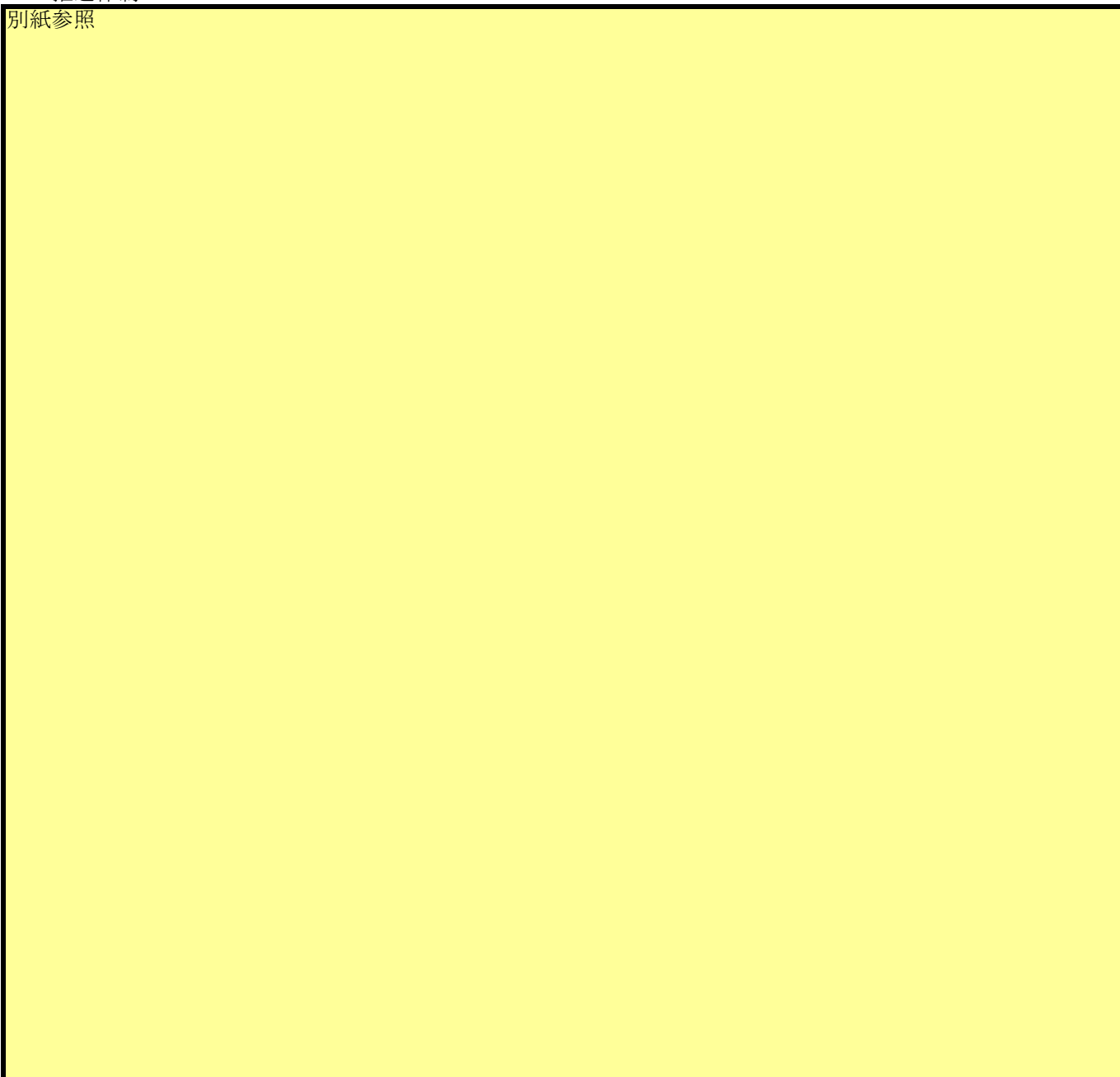
計画期間	2016年度	～	2018年度	実施年度	2018年度
------	--------	---	--------	------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>「エネルギー・水の使用抑制に係る基本方針」及び、「ビル設備保全業務基本マニュアル」第3章・エネルギー管理により、各ビルで作成した「エネルギー管理標準」に基づいてエネルギー削減を進める事とする。 [主要なエネルギー使用設備等の更新の検討について]</p> <ul style="list-style-type: none">コンパクト空調機更新 LMTオフィス階コンパクト空調機は、平成22年度より高効率モーター及び熱交換効率の高い空調機へ随時更新し、その更新工事は工事予算とテナント異動状況により計画より変動したが2018年度で全て完了した。その他オフィス系空調機の更新工事は、2020年度から2023年度に実施計画する。照明設備の更新 上記コンパクト空調機更新工事に合わせ、オフィス階共用部の照明器具はLEDを基本とした照明器具へ更新実施し、2017年度で全て完了した。 2018年11月より横浜ランドマークプラザ（商業エリア）の照明器具更新工事を実施中。全体工期としては、2020年2月を完了予定とする。空調用冷水・温水ポンプ更新 各所空調負荷用途の冷水・温水ポンプは、高効率モーター（最新ではIE3）を採用し、インバーターによる適正流量制御を行う事で搬送動力及び熱量の削減を図った。更新工事は、2016年度で全て完了した。

4 推進体制

別紙参照



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	横浜ランドマークタワー
	所在地	横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー15階
	閲覧可能時間	10:00~17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	27,517	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	27,217	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	26,691	t-CO ₂	削減率	3.0 %		削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>「エネルギー・水の使用抑制に係る基本方針」及び、「ビル設備保全業務基本マニュアル」第3章・エネルギー管理により、各ビルで作成した「エネルギー管理標準」に基づいてエネルギー削減目標とし、対前年度比-1%と設定しているため、削減率は3年で3%と設定する。</p> <p>①横浜ランドマークタワー ②クイーンズパーキング ③マークイズみなとみらい ④25街区ギャラリー棟（第1号及び第2号非該当・用途：ショールーム） 上記の事業所に於いては、省エネ設備更新工事及び節電対策等を随時行い、3年間で3%のCO₂排出量削減を目指す。</p>							
事業者全体としての目標等	<p>「エネルギー・水の使用抑制に係る基本方針」及び、「ビル設備保全業務基本マニュアル」第3章・エネルギー管理により、各ビルで作成した「エネルギー管理標準」に基づいてエネルギー削減を進める事とする。</p>							
第一年度 (2016年度)	排出量	27,040	t-CO ₂	削減率	1.7 %	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	26,602	t-CO ₂	削減率	2.3 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>各事業所に於いて、積極的な機器更新及び照明設備・空調機等のスケジュール短縮や間欠運転を実施した事で、事業者全体としても単年度目標としての削減率（1%）達成する事が出来た。また、入居テナントへの省エネ協力要請等の啓発活動等も、事業者全体としてCO₂排出量削減要因の一つと考える。次年度以降も引き続き、PDCAサイクルに則った省エネ活動を継続的に実施していく事で、更なるCO₂排出量削減に取り組む事とする。</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	26,105	t-CO ₂	削減率	5.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	25,194	t-CO ₂	削減率	7.4 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>第一年度に引き続き、省エネ機器更新工事及び照明設備・空調設備でのエネルギー削減対策を行ったことで、目標年度排出量の削減を達成することができた。 横浜ランドマークタワーに於いては、オフィス共用部照明更新工事が、予定より一年前倒しで完了した。</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	25,781	t-CO ₂	削減率	6.3 %	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	23,906	t-CO ₂	削減率	12.2 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>第二年度に引き続き、省エネ効率の高い設備機器への更新工事を継続的に実施して来た事が削減率増に繋がった。LMTオフィス共用部照明器具更新工事は、当初の計画より前倒しで完了し、2018年度より横浜ランドマークプラザ（商業エリア）の照明器具更新工事を開始した。またクイーンズパーキングでは、給排気ファンの運転管理およびスロープ灯をLED器具へ更新したことも削減率に寄与した。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>計画期間の全てで目標削減率を達成した。 一番の要因は、LMTでの各種設備機器更新工事の継続的な実施と省エネ効率の高い設備機器の採用を積極的に実施して来た結果だと考える。 クイーンズパーキングに於いても、給排気ファンの運転管理およびスロープ灯をLED器具へ更新したことも削減率に寄与した。また、毎年継続的に入居テナントへの省エネ協力要請等の啓発活動を実施して来た事も運用面での省エネに寄与したと考える。今後も中長期ローリングプランに沿って、省エネ効果の高い設備機器の採用や入居テナントへの継続的な啓発活動を通じて、エネルギー削減の重要性（地球環境への配慮）を説明し、全ての施設に於いて目標削減率を達成すべく取り組んで行く事とする。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	20,284	1	20,135	1	19,408	1	19,035
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,733	1	4,632	1	4,432	1	4,490
500k l 以上 1,500k l 未満	1	2,487	1	2,264	1	2,255	1	2,247
500k l 未満	1	13	1	9	1	10	1	9
合計	4	27,517	4	27,040	4	26,105	4	25,781

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		実施済	4 / 4	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2 / 2	—	年度		実施済	2 / 2	—	年度		実施済	2 / 2	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1 / 4	—	2018年度	①マークイズ実施済②LMT・クイーンズパークキング・ギャラリー種については随時実施中	実施中	2 / 4	—	2018年度	①マークイズ・LMT実施済②クイーンズパークキング・ギャラリー種については随時実施中	実施中	2 / 4	—	2023年度	①マークイズ・LMT実施済②クイーンズパークキング・ギャラリー種については随時実施中	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		実施済	3 / 3	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類)バルブ等 15 / 15	—	年度		実施済	(設備の種類)バルブ等 15 / 15	—	年度		実施済	(設備の種類)バルブ等 15 / 15	—	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	非該当	(設備の種類) /	—	年度	当社の該当建築物に対象機器が無い為	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 2 / 2	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 2 / 2	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 2 / 2	—	年度		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 2 / 2	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 2 / 2	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 2 / 2	—	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	／	—	年度		／	—	年度		／	—	年度		／	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	／	年度		—	／	年度		—	／	年度		—	／	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	／	年度		—	／	年度		—	／	年度		—	／	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	／	—	年度		／	—	年度		／	—	年度		／	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	／	—	年度		／	—	年度		／	—	年度		／	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		8.27 %		25,781		5,704.7		3,573.8		2,131					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	オフィス共用廊下（46・43・40・38・29・26・17階 7フロア）照明器具更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	1フロアあたり FLR40W2灯用×36台・FL20W2灯用×12台・FHT24W×8台・FDL18W×41台・FLR40W1灯用×38台・FDL27W×2台	昼間買電	132	千kWh	67.6	1フロアあたり LED52灯46W×40台・LED26灯2台組46W×4台・LED(DL)7W×8台・LED(DL)13.3W×12台・LED(DL)13.5W×24台・FHF32W×27台・FHF16W×1台	昼間買電	42	千kWh	21.5	46.1	千円
2	タワー棟43・40・38・37・29・26・25階コンパクト空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	1フロアあたり 電動容量2.7kW×16台 全熱交換機を使用	冷水	1,532	GJ	87.3	1フロアあたり 電動容量(高効率モーター IE3) 2.2kW×16台 全熱交換器を撤去し給排気ファンユニット新設及びCO2制御を採用	冷水	1,001	GJ	57.1	271.8	千円
				産業用以外の蒸気	980	GJ	55.9	産業用以外の蒸気	525	GJ	29.9				
				昼間買電	1,342	千kWh	687.1	昼間買電	921	千kWh	471.6				
3	低層及び高層棟組立空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	インバーターによる風量制御運転	昼間買電	304,020	kWh	155.7	電動機（高効率モーター）へ交換及びインバーターによる風量運転	昼間買電	300,270	kWh	153.7	1.9	千円
4	空気圧縮機更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	スクリーコンプレッサ 実測電力量5,377kWh/月	昼間買電	64,524	kWh	33.0	パッケージオイルフリーベピコン 実測電力量2,533kWh/月	昼間買電	30,396	kWh	15.6	17.5	千円
5	駐車場スロープ照明更新工事	クイーンズパーキング	2016	1台あたり ハイカライト140W型・24時間・365日点灯を160台	昼間買電	196	千kWh	100.4	1台あたり LED72W型・24時間・365日点灯を160台更新	昼間買電	101	千kWh	51.7	48.6	千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)				
					種別	使用量			単位	種別				使用量	単位
6	オフィス共用廊下 (39・37・34・31・22・18階 6フロア) 照明器具更新工事	横浜ランドマークタワー	2015	1フロアあたり FLR40W2灯用×36台・FL20W2灯用×12台・FHT24W×8台・FDL18W×41台・FLR40W1灯用×38台・FDL27W×2台	昼間買電	112	千kWh	57.3	1フロアあたり LED52灯46W×40台・LED26灯2台組46W×4台・LED(DL)7W×8台・LED(DL)13.3W×12台・LED(DL)13.5W×24台・FHF32W×27台・FHF16W×1台	昼間買電	36	千kWh	18.4	38.9	千円
7	タワー棟19・22階コンパクト空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2015	1フロアあたり 電動容量2.7kW×16台 全熱交換機を使用	冷水	438	GJ	25.0	1フロアあたり 電動容量(高効率モーター IE3)2.2kW×16台 全熱交換器を撤去し給排気ファンユニット新設及びCO2制御を採用	冷水	401	GJ	22.9	72.7	千円
				産業用以外の蒸気	280	GJ	16.0	産業用以外の蒸気	210	GJ	12.0				
				昼間買電	384	千kWh	196.6	昼間買電	254	千kWh	130.0				
8	オフィス共用廊下 (33・30・23・21・14・13・8・7階 8フロア) 照明器具更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	1フロアあたり FLR40W2灯用×36台・FL20W2灯用×12台・FHT24W×8台・FDL18W×41台・FLR40W1灯用×38台・FDL27W×2台	昼間買電	146	千kWh	74.8	1フロアあたり LED52灯46W×40台・LED26灯2台組46W×4台・LED(DL)7W×8台・LED(DL)13.3W×12台・LED(DL)13.5W×24台・FHF32W×27台・FHF16W×1台	昼間買電	48	千kWh	24.6	50.2	千円
9	タワー棟33・30・24・21・20階コンパクト空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	1フロアあたり 電動容量2.7kW×16台 全熱交換機を使用	冷水	1,094	GJ	62.4	1フロアあたり 電動容量(高効率モーター IE3)2.2kW×16台 全熱交換器を撤去し給排気ファンユニット新設及びCO2制御を採用	冷水	1,001	GJ	57.1	181.7	千円
				産業用以外の蒸気	700	GJ	39.9	産業用以外の蒸気	525	GJ	29.9				
				昼間買電	959	千kWh	491.0	昼間買電	634	千kWh	324.6				
10	低層棟・組立空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2015	インバーターによる風量制御運転	昼間買電	761,224	kWh	389.7	電動機(高効率モーター)へ交換及びインバーターによる風量運転	昼間買電	741,673	kWh	379.7	10.0	千円
11	ショップ系統空調用温水循環ポンプ更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	モーター容量55kW×4台	産業用以外の蒸気	2,699	GJ	153.8	モーター容量37kW(IE3)×4台、インバーターによる流量制御	産業用以外の蒸気	740	GJ	42.2	214.1	千円
				昼間買電	276	千kWh	141.3	昼間買電		76	千kWh	38.9			

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)				
					種別	使用量			単位	種別				使用量	単位
12	オフィスNo3ゾーン系統空調用冷水循環ポンプ更新工事	横浜ランドマークタワー	2016	モーター容量30kW×3台	冷水	764	GJ	43.5	モーター容量18.5kW(IE3)×2台・7.5kW(IE3)×2台、インバーターによる流量制御	冷水	263	GJ	15.0	54.7	千円
					昼間買電	78	千kWh	39.9		昼間買電	27	千kWh	13.8		
13	オフィス共用廊下(47・45・44・35・25・12階 6フロア)照明器具更新工事	横浜ランドマークタワー	2017	1フロアあたり FLR40W2灯用×36台・FL20W2灯用×12台・FHT24W×8台・FDL18W×41台・FLR40W1灯用×38台・FDL27W×2台	昼間買電	110	千kWh	56.3	1フロアあたり LED52灯46W×40台・LED26灯2台組46W×4台・LED(DL)7W×8台・LED(DL)13.3W×12台・LED(DL)13.5W×24台・FHF32W×27台・FHF16W×1台	昼間買電	29	千kWh	14.8	41.5	千円
14	タワー棟46・45・44・39・36・34階コンパクト空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2017	1フロアあたり 電動機容量2.7kW×16台 全熱交換機を使用	冷水	1,313	GJ	74.8	1フロアあたり 電動容量(高効率モーター IE3)2.2kW×16台 全熱交換器を撤去し給排気ファンユニット新設及びCO2制御を採用	冷水	1,202	GJ	68.5	203.1	千円
					産業用以外の蒸気	840	GJ	47.9		産業用以外の蒸気	630	GJ	35.9		
					昼間買電	1,151	千kWh	589.3		昼間買電	790	千kWh	404.5		
15	低層及び高層棟組立空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2017	インバーターによる風量制御運転	昼間買電	851,386	kWh	435.9	電動機(高効率モーター)へ交換及びインバーターによる風量運転	昼間買電	825,845	kWh	422.8	13.1	千円
16	オフィス系・冷水プースターポンプ更新工事	横浜ランドマークタワー	2017	モーター容量90kW×4台	昼間買電	589	千kWh	301.6	モーター容量75kW(IE3)×4台、インバーターによる流量制御	昼間買電	378	千kWh	193.5	108.0	千円
17	駐車場・誘導灯更新工事	クイーンズパーキング	2018	20W器具228台 10W器具2台 合計230台の更新	昼間買電	48	千kWh	24.6	2.7W26台、3.6W92台、4W45台 4.9W1台、3.2W25台、5.3W39台 2W2台	昼間買電	8	千kWh	4.1	20.5	千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
18	タワー棟10階コンパクト空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2018	1フロアあたり 電動機容量2.7kW×16台 全熱交換機を使用	冷水	219	GJ	12.5	1フロアあたり 電動容量(高効率モーター IE3) 2.2kW×16台 全熱交換器を撤去し給排気ファン ユニット新設及びCO2制御を採用	冷水	200	GJ	11.4	32.7	千円
					産業用以外の蒸気	99	GJ	5.6		産業用以外の蒸気	74	GJ	4.2		
					昼間買電	166	千kWh	85.0		昼間買電	107	千kWh	54.8		
19	低層及び高層棟組立空調機更新工事	横浜ランドマークタワー	2018	インバーターによる風量制御運転	昼間買電	439	千kWh	224.8	電動機(高効率モーター)へ交換 及びインバーターによる風量運転	昼間買電	394	千kWh	201.7	23.0	千円
20	横浜ランドマークプラザ照明更新工事	横浜ランドマークタワー	2018	FL・FHT・ハロゲン・HID等を5フロア で多数使用	昼間買電	1,813	千kWh	928.3	LED器具更新および撤去を5フロア で実施	昼間買電	483	千kWh	247.3	681.0	千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明器具	2016年度	17㎡あたり LED52灯46W×40台・LED(DL)13.5W×24台等を採用	導入前 FLR2灯40W×36台・FDL18W×41台を使用
2	LED照明器具	2017年度	17㎡あたり LED52灯46W×40台・LED(DL)13.5W×24台等を採用	導入前 FLR2灯40W×36台・FDL18W×41台を使用
3	LED照明器具	2017年度	2,7W26台、3,6W92台、4W45台 4,9W1台、3,2W25台、5,3W39台、2W2台	導入前 20W器具228台・10W器具2台
4	LED照明器具	2018年度	57㎡の照明器具をLEDへ更新	導入前 FHT・ハロゲン・HID等を使用
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	1,839	東京電力エナジーパートナー(株)
2	グリーンエネルギークレジット	2018年度	横浜ランドマークタワー	36	グリーン電力証書
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン・缶の分別及び発泡スチロール等のリサイクル実施。 ・蛍光管・管球は、廃棄物手順書に従って処理。 ・排出する廃棄物は、排出抑制及び分別が徹底されるようテナント宛啓発活動を実施。 ・営繕工事に伴う建設系廃棄物の適正処理を各施工会社に依頼及び確認。 ・手洗等の水量を調整及びテナント宛節水の啓発活動を実施。
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン・缶の分別及び発泡スチロール等のリサイクル実施。 ・蛍光管・管球は、廃棄物手順書に従って処理。 ・排出する廃棄物は、排出抑制及び分別が徹底されるよう、テナント宛啓発活動を実施。 ・営繕工事に伴う建設系廃棄物の適正処理を各施工会社に依頼及び確認。 ・手洗等の水量を調整及びテナント宛節水の啓発活動を実施。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン・缶の分別及び発泡スチロール等のリサイクル実施。 ・蛍光管・管球は、廃棄物手順書に従って処理。 ・排出する廃棄物は、排出抑制及び分別が徹底されるよう、テナント宛啓発活動を実施 ・営繕工事に伴う建設系廃棄物の適正処理を各施工会社に依頼及び確認。 ・手洗等の水量を調整及びテナント宛節水の啓発活動を実施。
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン・缶の分別及び発泡スチロール等のリサイクル実施。 ・蛍光管・管球は、廃棄物手順書に従って処理。 ・排出する廃棄物は、排出抑制及び分別が徹底されるよう、テナント宛啓発活動を実施 ・営繕工事に伴う建設系廃棄物の適正処理を各施工会社に依頼及び確認。 ・手洗等の水量を調整及びテナント宛節水の啓発活動を実施。
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン・缶の分別及び発泡スチロール等のリサイクル実施。 ・蛍光管・管球は、廃棄物手順書に従って処理。 ・排出する廃棄物は、排出抑制及び分別が徹底されるよう、テナント宛啓発活動を実施 ・営繕工事に伴う建設系廃棄物の適正処理を各施工会社に依頼及び確認。 ・手洗等の水量を調整及びテナント宛節水の啓発活動を実施。

14 実施状況等に対する自己評価

三菱地所（各事業所）では、年2回（夏季6月～9月・冬季12月～2月）全テナントへ省エネルギーの啓発活動として、「環境対策強化月間」を設け、共用部照明間引きや給湯停止等の省エネルギー活動に取り組んでいる。

省エネルギー推進体制表

